

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本 幸夫	電話番号	0852-22-5167
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	県民参加による森づくり事業		
目的	(1) 対象	県民参加による森づくり事業	
	(2) 意図	森づくりの活動等に積極的に参加してもらい、森林・林業への理解を深めてもらう。	
事業概要	① 県民自らが活動を企画提案し参加することができるように、水と緑の森づくり税を財源として、森林整備や県産木材の利用、森林環境学習などの取組に対し交付金を交付する。(みーもの森づくり事業) ② しまね森林活動サポートセンターが県からの委託を受けて、森林に関する支援を必要とする方に対し、専門家(森づくりサポーター)を派遣する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		16,200.0	16,700.0	17,400.0	17,900.0	人
	式・定義	取組目標値						
	実績値	15,763.0						
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
	実績値							
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	52,079	58,619
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

みーもの森づくり事業及びしまね森林活動サポートセンターの支援による森づくり活動への参加者は、ほぼ横ばいで推移している。(H25 15,068人、H26 16,332人、H27 15,763人)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

県としても県民自らが森林の整備・保全活動へ直接参加できるような機会や森林とふれあう機会の提供ができており、「森林の整備・保全は社会全体で支える」という県民意識の醸成や森林に対する県民理解の促進に繋がっており、毎年一定以上の県民参加者数の実績があがっている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
県民アンケートにおいて「森づくりボランティアに参加したいと思っているが、参加したことが無い」との回答があるように、意識が行動にまで結びついていないことが少なくない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
上記アンケート回答をされた方の身近に森づくりに参加する機会が多くないこと。
- ③原因を解消するための「課題」
今以上に森づくりに参加できる機会を増やす。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

森づくり事業への更なる県民参加を促進するためには、現在の参加者による継続的な活動に加えて、潜在的な意識をもっている方々の参加へのきっかけづくりが重要であるため、引き続き県民参加の森づくりの機会を創出するとともに、しまね森林活動サポートセンターの活用(森づくりサポーターの更なる活用)などにより更なる参加機会を創出していく。また、みーもの森づくり事業における提案採択において、より多くの県民の方々が参加することができることをこれまで以上に重視して評価する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)